

増設多核種除去設備（増設ALPS）排水サンプル1シンク 下流からの漏えい

2019年8月29日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

■概要

- 2019年7月29日増設ALPS排水サンプ1シンク下流からの漏えいを確認
- 漏えい箇所は、排水サンプ1シンク出口弁下流のステンレス製フレキシブル配管
- 漏えいした水は増設ALPSの堰内に留まっており、建屋外への漏えいには至っていない

■時系列

7月29日

- 11:09 増設ALPS排水サンプ1シンク下流からの漏えいを当社社員が発見
漏えいは1滴／3秒
- 11:40 漏えい停止を確認
- 12:30 サンプルング実施
- 13:32 漏えい水の拭き取り完了

漏えい範囲

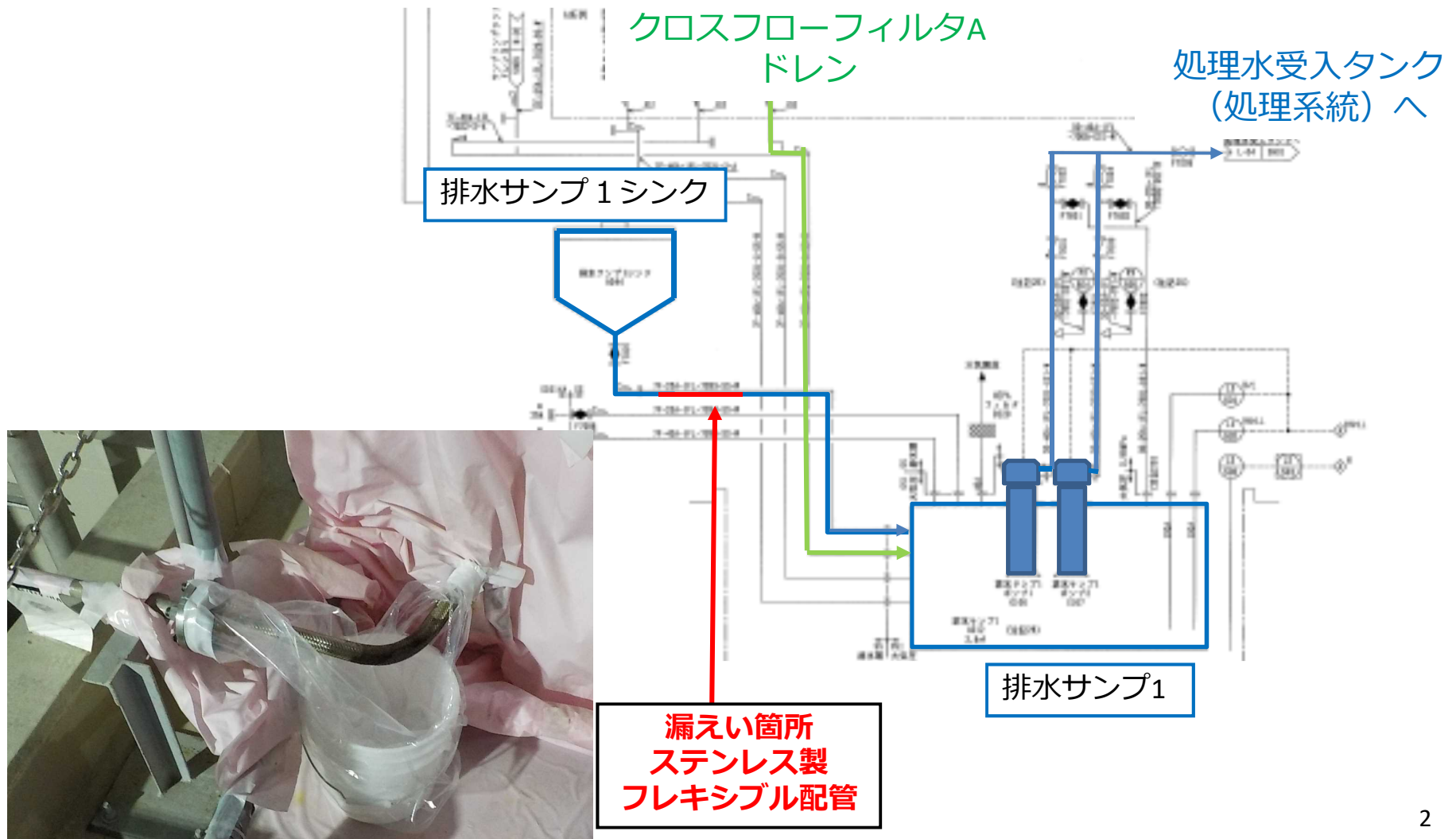
1m × 2m

漏えい水の放射能濃度

全β：1.8×10⁵Bq/L

漏えい発生状況

- 漏えい発生時、排水 Samp 1 シンク出口弁は閉としており、A系クロスフローフィルタ（CFF）洗浄作業のエアブローにより、排水 Samp 1 を介して当該ラインに圧力がかかっていた。また、シンクからの水の流入はなかったことから、もともと損傷していたフレキシブル配管から残水が漏えいしたと思われる。



■暫定処置

漏えいしたフレキシブル配管を取り外し、閉止フランジの取り付けおよびサンプ1シンの使用を禁止する処置を行い、復旧済み。

■今後の対応

原因はフレキシブル配管の腐食と推定しており、今後、同様の腐食が懸念される配管も含め、交換を実施する予定。